

蛍光X線分析装置のご紹介

平成19年度導入の蛍光X線分析装置をはじめ、各種装置を利用して企業の開発・品質管理をお手伝いしています。

装置の概要

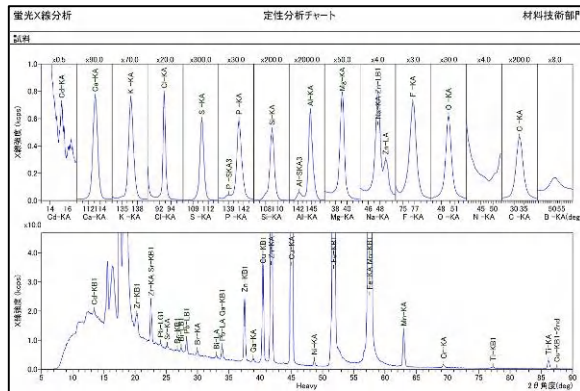
材料や部品にX線を照射し、発生する蛍光X線を測定することで、サンプルに含まれる元素の種類と量を調べます。

波長分散型蛍光X線分析装置

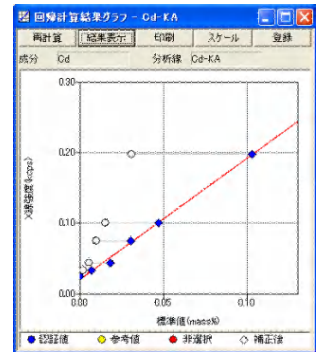
軽元素から重元素の測定が行え、複雑な組成でも分析できます。



装置構成



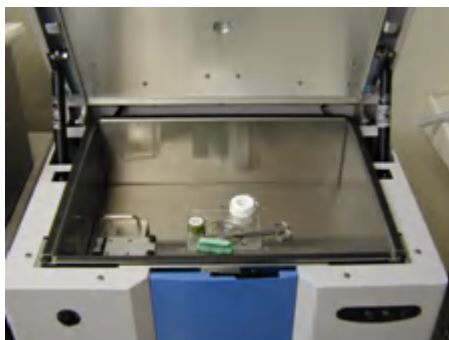
定性分析チャート(無機試料)



定量分析に用いる検量線 (黄銅中のCd)

エネルギー分散型蛍光X線分析装置

簡単迅速に測定が行え、小さい面積(0.1mm)での分析が可能です。

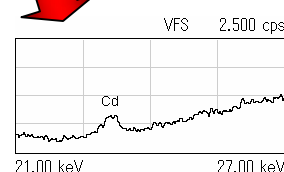
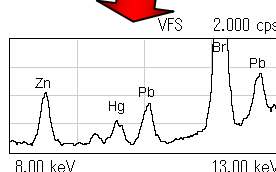
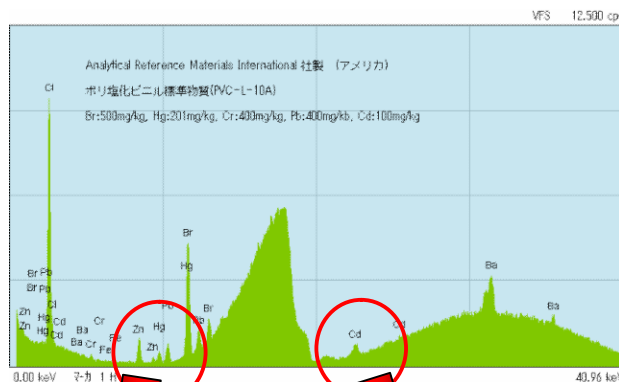


試料室



装置構成

RoHS スクリーニング測定例



仕様
 [波長分散分析部]
 理学電機工業(株)製
 ZSX Primus
 測定元素 $^4\text{Be} \sim ^{92}\text{U}$
 試料 51mm x 30mmH
 測定径 0.5 ~ 30mm

[エネルギー分散分析部]
 (株)堀場製作所製
 XGT-1000WR
 測定元素 $^{11}\text{Na} \sim ^{92}\text{U}$
 試料
 460 x 360 x 150mmH
 測定径 0.1, 1.2mm
 (RoHS分析は1.2mm)